



自分を越えた眼を
Look Beyond Yourself

Raja

ラジェンドラ・K. サブー
1991~1992年度 R I 会長

職業奉仕・米山月間

1991. 10. 18 (金) 第194回例会
1. 点 鐘
 2. ロータリーソング「高めよロータリー」
 3. 「四つのテスト唱和」
 4. 食 事
 5. 会長の時間
 6. 幹事報告
 7. 各委員会報告
 8. 卓 話 齊藤 数馬君
 9. 点 鐘

第193回例会記録
(1991. 10. 11)

会長の時間 濱田 松太郎
皆さん 今日、本日は第193回、井上ガバナーの公式訪問例会です。井上ガバナー及び福岡中部分区代理には、遠隔の地よりお越しいただき本当に有難うございました。お二人とも尊い人命を預る医師であられまして、「ロータリーは超我の奉仕」とは申せ、なかなか大変なお役目であると拝察いたします。本日はよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

さて、第二次世界大戦以来40数年、我が国はアメリカの援助によりどうか国民の英知と絶ゆまざる努力が実を結び、今日の世界の中の経済大国といわれるまでに成長を遂げることができましたが、最近では、国際理解の最も大事な時機に、日米経済摩擦による「日本たたき」が日一日と深刻化の一途を辿りつつあるのは残念なことと思います。このような国際間の相互

理解が難しい時に当り、かつて日米理解に尽力された新渡戸稲藏博士の、「われ太平洋の架橋にならん」という有名な言葉を思い出したのでお話しいたします。昭和59年(1984)秋に5千円札の新札が発行され、新渡戸稲藏博士の肖像画が刷り込まれました。新渡戸博士は1862年(文久2年)に生まれ、東京外国語学校に学んだ後、札幌農学校を卒業し、一時官職に就きましたが、東京帝国大学へと進学します。入試の際の試験官の質問に対し、「われ太平洋の架橋にならん」と答えましたが、太平洋をはさんだ日米両国が相互に理解し合い、固く結び合うことの必要性を感じ、自ら両国の架橋になろうと志したのです。これこそが生涯をかけて果すべき使命であると自分に言いきかせて、それを信念としていたのです。

アメリカと日本のかけ橋になるためには、どうしてもアメリカ留学の機会が欲しいと考えていたところ、チャンスが訪れました。彼は東大を中退して渡米し、初めアルゲーニ大学へ入学したのですが、知友の勧めもあって、ジョンズ・ホプキンス大学へ転校し、そこで3年間農政学と農業生活学を学びました。帰国後、京大教授、一高校長、東大教授を歴任し、東京女子大学長、国際連盟事務次長と活躍されるわけですが、その間、昭和6年~8年にかけて、当時飛鳥も落とす勢いの軍閥に対して、国際人としての信念を貫いた言葉に、「日本を滅すものは(中略)今となっては軍閥であると答えねばならぬ。」というのがあります。満洲上海事変の折りで、

右翼や軍閥からにらまれ、身の危険を感じたことも度々あったにもかかわらずいさかもひるむことなく軍閥を諫め続けました。一方日米関係の険悪化を阻止するためアメリカ各地を訪れ日米の理解と親善のために講演をして廻り、文字どおり“太平洋のかけ橋”として身を挺して活躍をされました。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

井上日出男ガバナーより

本日の公式訪問が有意義に、楽しく、好意と友情が深まりますよう願っています。

福岡芳朗中部分区代理より

皆さんには何かとお世話になっています。今後ともよろしく願い申し上げます。

*お二人から多大のハッピーをいただきましたので、厚くお礼申し上げます。

幹事報告

鈴木正敏

1.例会変更通知

- ・延岡東RC 10月21日 18:30-
ガーデンベルズ延岡
- ・宮崎南RC 10月21日 12:30-
県立子ども療育センター
- ・西都RC 10月22日 12:30-
西都クローキング(株)
- ・宮崎RC 10月26日 13:30-
航空自衛隊新田原基地
- ・宮崎北RC 10月30日 12:30-
九州電力宮崎支店九電コミ
ユニティプラザ2階大ホール

出席報告

神宮寺利夫

会 員 数	19名
欠 席 者 数	2名
H C 出 席 者 数	17名
出 席 率	89.47%
欠 席 者	正岡・井下

井下ガバナーは25年間例会無欠席です。私たちも1年、1年無欠席を積重ねて行きましょう

井上ガバナー アドレス

本年度2730地区のお世話をするようになりました井上です。皆様方のご協力をよろしく願いたします。先ほど、会長・幹事・会長エレクト・分区代理と5名でいろいろ話し合いをしました。このクラブでは会員の少ないことを心配していましたが、幸いに16名から3名増え19名になり、もう直ぐ20名に達しようとしていることは大変よろこばしいことです。

今よりも一層親睦を向上されて、家族ぐるみで楽しいロータリーの会にしてもらいたいと思います。なんとなく行きたくくなるような、そんな雰囲気になるような会にして欲しいと思います。それには皆さん親睦が大事ですね。そしてロータリーのことも少し勉強してください。

さて、すでに皆さんはご承知の、ロータリーの沿革について一応申し上げます。今から86年前の1905年に、ポール・ハリスという若い弁護士がシカゴに住んでいました。その頃のシカゴは経済状態が非常に悪化し、人心は荒廃し、世相は乱れておりました。そこで彼は、自分が生まれた故郷の状態を憂い、3人の友人と相談して第1回の会合を開いたのがロータリーの創立であります。

このポール・ハリスの考えに同調してアメリカに14のクラブが誕生しました。そして国境を越えてカナダにも、16年後の1921年には東京にもロータリークラブができました。翌年1922年に国際ロータリーが結成されました。現在RIに加入しているクラブは世界で実に173ヶ国、クラブ数25,000余り、会員総数は約112万人に達しています。(R)

ビ ジ タ ー

延岡RC	藤本慶光君
西都RC	久留主敬藏君
〃	光井幹明君
〃	清水利壽君
〃	河野謙二君